

理事会議案

日 時 2022年1月5日

場 所 渋谷区スポーツセンター2階 第1・第2会議室

注 記 議長:松村、書記:成田

出席者(敬称略): 34名

松本(会長)、近藤(副会長)、松村(理事長)、池澤(副理事長)、富樫(副理事長)、祝迫(事務局長)、堀(千代田)、石渡(中央)、木村(港)、折原(文京)、小林(台東)、加藤(江東)、小沼(葛飾)、小杉(江戸川)、浅見(八王子)、西崎(三鷹)、澤口(青梅)、中内(小金井)、古橋(日野)、斉藤(西東京)、磯(目黒)、坂本(世田谷)、佐藤(大田)、飯泉(渋谷)、赤松(町田)、近藤(新宿)、川村(杉並)、山本(北)、小林(板橋)、川上(練馬)、神谷(関東学連)、林(関東学連)、小林(関東学連)、成田(会計、書記)

●会長挨拶

●報告事項

【理事長】

- 2022年は夢の島アーチェリー場の正式運用開始となります。
日本一会員数の多い都府県ア協として大会数を増やし、①ジュニア育成促進、
②出たい大会に出れる環境づくり、を目指して参ります。
- コロナ禍での初心者受け入れ状況が不安定な為、各区市ア協の現状届のHP掲載は、
差し控えています。

【競技部会】

- 2022年度室内選手権大会を葛飾区奥戸総合スポーツセンターにおいて12月17日・18日で開催
することが決定した。

【普及育成部会】

- 令和3年度トップアスリート発掘・育成事業 担当者連絡会出席
出席者: 齊藤(強化部)、堀(普及育成部)
内 容: ①13期生の選考状況・プログラム
②14期生競技体験日程の各競技希望日確認
希望日は以下で提出している。
1回目9月19日 or 23日、2回目10月10日 or 16日
- ジュニア合同練習会要項配布
1回目: 2022年1月30日 江戸川区総合体育館 アーチェリー場
2回目: 2022年2月23日 江戸川区総合体育館 アーチェリー場
- ジュニア指導者講習会 予定
2022年2月23日 江戸川区総合体育館 アーチェリー場
- 夢の島小中学生オープン大会要項(3/26 予定)

資料①

【強化部会】

1. TEAM 東京 国体強化事業

- ・12月5日、12日、26日に夢の島冬季大会①②③を実施

① 行射には影響がないものの休憩時間等に公園利用者が侵入。侵入箇所のガードを強化にて対策。

侵入等の問題が生じた件については、夢の島公園に全て文書で報告しており、今後どのような対策が必要か検討していく。

現状:築山の後ろにオレンジ色のバリケードを設置することで築山側からの侵入は防げているが射線側からの侵入する例が生じている。

② 5日と12日は試合後に1時間程自由練習時間を設けた。

③ 3分間のフリー練習をしたが、矢の本数管理を再度徹底させる必要あり。

④ 26日は納射会を兼ねて団体戦を実施した。選手より好評であり団体戦のルール周知にもなった。今後、団体戦の実施する機会を作っても良さそう。

- ・グローバル指導者育成事業の実施が承認

受講生を募集し、2月と3月にて講習実施(詳細は協議事項に記載)

※1月の予定

現時点では予定なし

2. 12期生トップアスリート発掘・育成事業

- ・第21回練習会 12月12日(日) 世田谷公園にて実施 選手4名参加

※1月の予定

現時点では予定なし

【審判部会】

1. 1級審判員候補者 ミニ講習会開催

12月18日(土)・19日(日)の東京都室内選手権大会会場にて、1級審判員候補者対象のミニ講習会(ターゲット編)を開催した。

2021年度1級公認審判員新規認定会開催についてお知らせしているので対象者の参加をお願いします。

2. WA総会決議 競技規則の変更について(11月・12月理事会報告の続報)

口頭にて説明。

全ア連から続報が入りましたら理事会で報告する。

【総務部会】

特になし

【関東学連】

1. 12月10日～12日に、江戸川総合体育館アーチェリー場にて、学連インドアを開催いたしました。ご多忙の中、貴協会から一級審判員をご派遣いただき、誠にありがとうございました。

【東身ア協】

特になし

●協議事項

【理事長】

1. 全ア連公認競技会役員に関する基本的な考え(副会長より) 資料②
2. 競技運営管理規則の一部改正 資料③
→駒沢第一球技場の脚数変更、夢の島アーチェリー場の脚数設定
競技運営管理規則の一部改正について、全会一致で可決した。

3. 文部大臣表彰の件 資料④
常務理事会で検討してお知らせする。

4. 謝金新設をしたい

・協会運営役員について

→仕事と呼べるほど、通年で金銭のやり取り、対象者とのやり取りが発生している・

- ① 登録担当 2,000円/月、毎年6月に1年分先払い
- ② 会計担当 2,000円/月、毎年6月に1年分先払い

・大会運営役員について

→夢の島アーチェリー場開設により、公認競技会の開催数が増える。

公認競技として確実に開催する為、1級審判員を1試合当たり2名以上は確保していきたい。

- ① 1級審判員 2,000円/回、通常謝金に上乘せ

協会運営役員、大会運営役員の規定を変更することが全会一致で可決され、本年1月から実施することとした。

5. 次期登録担当の内定

・福島 緑豊さん(葛飾区ア協)、副担当として中田さんと登録業務の習得、改善を行っていただく。

全会一致で可決した。

【競技部会】

1. インドアオープン 2022 開催準備について

○設営：2月18日(金)18時から

機材搬入： 18時30分 (27脚、機材一式)25脚設置予定

畳搬入： 18時30分 1帖畳 60枚、1的から6的迄 3枚設置予定)

設営人員： 20名予定(関東学連選手にお手伝いを10名程度依頼した)

○大会:19日(土)・20日(日)

各大会役員数： 名・・・執行役員、常務理事、理事に出役依頼を送信済みの

紙： 参加人数確定後発注予定

プログラム： 例年通り作成予定

プログラムにメンバー表を掲載するため 2月13日までにデータ提供が必要

参加賞バッジ： どうするか 昨年と同様とすることとした。

終了後の畳： 使用後の畳の欲しい団体を募る

機材、畳の搬出予定時間:20日(日)16時頃

※畳を希望する団体は連絡ください。全部で65枚ぐらいあり、配送の依頼は可能。

2. 2022年度競技予定案 12/25版

資料⑤

・小金井6大会、光ヶ丘6大会、駒沢6大会、夢の島9大会、花のやま9大会、インドア3大会を予定。

・光ヶ丘で年2回50m・30mラウンド大会を行う。

・光ヶ丘では、キャディットラウンドは行わない。

・小金井、駒沢は、例年通りキャディットラウンドの「C」を記載

・夢の島で、マスターの60mラウンド、キャディットラウンド、TST記録会を行う。

<資料⑤修正>

・5月3日(祝水)→5月3日(祝木)

・担当ブロックで2ブロック記載の箇所を1ブロックに修正する。

日程変更:

5月14日の「2022年度東京都第1回70m・60m・50mラウンド夢の島大会」を5月4日(水)に移動

大会追加:

5月5日「2022年度東京都小中学生夢の島大会(オープン)」を実施

6月12日「2022年度東京都CP・BBダブル大会」を駒沢で実施

午前、午後で2試合実施する。2試合参加の場合は参加費4,000円とする。

会場変更:

6月12日 2022年度東京都国体最終予選会 駒沢→夢の島

・要綱および申込用紙はホームページに掲載する。

申込用紙は競技予定表を配信の際にも添付する。

3. 夢の島アーチェリー場の担当を「都」とする。

・役員、審判員は、理事等に出役可能日を提出して貰い後日担当を決める。

・2022年度で、設営や運営のできる理事をなるべく多く育成する。

町田インドアに 関東学連から設営手伝い10名を依頼した。

【普及育成部会】

1. 夢の島小中学生オープン大会

→50m・30m 部門を公認とするか 公認大会とすることが可決された。

【強化部会】

1. グローバル指導者育成事業受講生の募集

目的: 世界で活躍する選手を育成するための指導環境の整備。

指導者の知識向上と一貫性を図るため指導者向けの講習会を実施。

対象者: ①都内の各市町村にて初心者を指導している方、当協会強化部スタッフ

②令和3年度ジュニア育成地域推進事業対象地区の指導者 各1名

(世田谷区、江戸川区、三鷹市、町田市、日野市)

定員: 30名 選考の上決定することとした。

日程: 2月6日(日) 9時～15時 栄養学

2月11日(祝・金) 9時～12時 選手の間人性

13時～15時 アンチ・ドーピング

2月27日(日) 9時～16時 技術講習

3月5日(日) 9時～16時 技術講習

3月20日(日) 9時～15時 スポーツメンタル

3月27日(日) 9時～15時 筋力

※講習内容等の詳細は別紙募集要項をご確認ください。

多くの方に情報を共有するためオンライン配信も考慮する。

【審判部会】

1. 新規2級・3級公認審判員養成講習会

2022年3月21日(月・祝) 会場未定。会場が決定次第、文書発信を行う。

添付資料

1. 新規2級公認審判員養成講習会開催のお知らせ(案)

資料⑥

2. 新規3級公認審判員養成講習会開催のお知らせ(案)

資料⑦

会場決定後、文書配信を行うことが承認された。

配信後、各協会にて講習会参加者を募ってください。

【関東学連】

1. イアンセオ運営経験向上のため、東京インドアオープンに当連盟から、役員5名の

派遣受け入れをして頂きたい。

派遣について承認された。町田インドアでも派遣を受け入る。

2. 2022年度男女リーグ戦、イアンセオ使用におけるサポートのお願いについて

資料⑧

機材について貸出を承認した。

人員について相談の上対応することとした。

東京インドア、町田インドアで経験を積んでいただく事を提案した。

【総務部会】
特になし

【東身ア協】
特になし

都ア協理事 各位

都ア協副会長 近藤 均

全ア連公認競技会役員に関する基本的な考え

1 ブロック制の維持

東西南北の各ブロックに競技会運営の主管を依頼する方式は、今後も継続することが適当と考えます。その際、主管を2つ以上のブロックに共催させる方式は適当と考えません。

ただし、試合会場によって年間の競技会開催日数が偏りつつある現状を踏まえ、各ブロックへの年間主管回数が極力公平になるよう、年間計画策定時に回数調整を行うことを提案します。

回数調整の結果、場合によってはブロック外の射場の主管になることも致し方がないものと考えます。

2 都ア協役員の役割

都ア協主催の公認競技会において、都ア協規約第8条に規定の理事等が不在ということはありません。このことは、上記第1項のブロック主管の競技会においても同様と考え、主管ブロックの都ア協理事等を複数名充てることを前提とし、これが適わない場合には、当該ブロックは他のブロックに理事等の出役を依頼して補うことが必要です。

従って、都ア協の役員就任時に審判資格が未資格の場合には、極力取得に向けて努力すべきと考えます。

3 射場管理者の育成の必要性

上記の2項目は全ア連競技規則の競技会役員数の規定を遵守するために過ぎず、競技会を開催する上での人員的な必要条件であり、ここには、競技会当日の陣頭を指揮する要素は含まれておりません。しかし、実際の競技会運営においては、資格の有無や級数よりも、当該射場を熟知する管理者的な人材が絶対的に必要となります。

当該射場指定管理者等との交渉等々はもとより、例えば備品・畳・的紙類の保管と補充・点検、射線等のペグの敷設、都立公園常設射場の場合の練習的の配置・片付け方法、最も重要な安全設備、施策の確認などの諸々を把握することは、一朝一夕には育成は適いません。

こうした人材を射場の所在区市ア協やブロック内の特定の人物に委ねることは必要な対策とは考えますが、少数に頼りきりになることへの懸念も拭えません。そこで、次代の人材育成を都ア協が行うことは、その会場で競技会を開催する主催団体としての務めと考えます。

1つの射場に複数人の「射場管理者」と言える人材を育成した上で、競技規則上の役員配置数に加配し、競技委員長と協同して競技会全般の差配を振るう必要があるものと考えます。

4 競技委員長について

いうまでもなく当日の責任者であり、全ア連競技規則上も1級審判員の務めです。各ブロックの1級審判員数に隔たりがあるため、この配置に関してはブロックにのみ委ねず、出役数に偏りが生じた際には審判部会による調整も考えなければなりません。

加えて、1級審判員の育成に取り掛かり、最低でも各ブロックに3人程度の稼働可能な競技委員長候補者を配置することが必要と考えます。

5 記録員の配置について

電子集計システム「イアンセオ」の導入により、得点計集計での計算の誤りは皆無となり、最終成績の確定も試合終了とほぼ同時に行うことが可能であり、手計算の時代からは隔世の感があります。一方で、必要機器の設置・運用・トラブル対応、インターネット接続のためのシステム管理者が必要になるため、これまでの審判業務中心の競技会役員体制に、2～3人程度の記録担当者が必要になってきました。

この担当者も、何れはブロック動員に委ねることが適当と考えますが、現状においては端末等の持ち込みやシステム全般の操作等を考えると、性急にブロックに下ろすことは混乱を招きかねません。

まずは当該システムを担当する部会を仮決めし、どのように記録集計の機械化を定着させるのかを協議していく必要があると考えます。併せて、競技会の受付や立ち順等の作成も含め、トータルでの記録業務の見直しを行うことが必要と考えます。

6 1試合の必要役員数

ここまでの考察に従い、標準的な役員配置数と動員等の考え方を提示してみます。ただし、この提案はあくまでも例示であり、東西南北ブロックの経験や出役可能者数の実態に則して順応して頂ければ、より良いところに収れんされることと考えます。

(1) 競技規則上の配置 *通常の70m・50mラウンド(72射)の場合

①競技委員長、②DOS、③審判長、④審判員(3人程度)、計6人

※ この内、2人程度は都ア協理事を含むことが適当

(2) 運営上の必要配置

①計時員、②総務委員(射場管理含む)2人、③記録集計係(2～3人程度)、計5～6人

※ 審判員資格や級数は不問だが、機器操作やその射場を理解する者が適当

7 夢の島射場の主管に当たって【新規】

東京都は、2020 オリンピックレガシーとして夢の島射場の供用を開始し、都ア協の主要競技会場として運用が可能となりました。暫くは、都ア協直轄での管理・運営を行いながら、ここでの必要な役員の育成を行う必要があります。例えば上記第6項の(2)に記載の役員の内、計時員や射場管理者等は、東ブロックが中心になって人選・育成をしていくことが現実的と考えます。

ただし、競技規則上の審判員等の競技会役員の配置に関しては、この射場での開催数が極端に増えた場合に備え、どのブロックからでも出役が可能になるよう備えることが必要です。このことは、第1項に記載のブロック間の年間主管数の均等化を図る際にも、当然に考えなければならない事項です。

また、この射場での競技会運営には、現在のところ安全対策としての警備係の配置が必要になりますが、そのための人員配置も増員・加配が必要です。この係員の現実的な配置数には、同時に射場を利用する予定の高体連ア専門部、関東学連、都ア協傘下の協会が使用する際にも標準化できるよう各組織との協議を早急に行う必要があります。

このように、新たな射場で安全で安心して競技会が実施できるよう、都ア協理事会の中にプロジェクトチーム(PT)を設置し、当面の課題の協議が必要と考えます。そして、理想的にはどのブロックが主管しても開催ができるようなルール作りのためにも、PTメンバーを各ブロックにおいても公募を行い、夢の島射場としてのノウハウを蓄積することが大切です。何より端緒が肝心と考え、ここで多少の時間をかけてでも、より良い仕組みを構築すべきです。どうか、多くの有志の力を結集していただきたいと思います。

以上

2022年1月理事会提出議案

競技運営安全管理規程の一部を改正する規程

標記の規程の一部を次のとおりに改正する。

2022年1月5日

東京都アーチェリー協会
会長 松本洋平

第4条第1項第1号の「21脚」を「27脚」に改め、第4号を追加する。

(4) 夢の島公園アーチェリー場 70脚

附 則

1 この規程は、2022年1月5日から施行する。

◎新旧対照表

旧	新
競技運営安全管理規程	競技運営安全管理規程
【略】	【略】
第2章 安全管理 (設置的数の制限等)	第2章 安全管理 (設置的数の制限等)
第4条 次の各号の競技会場においては、的数を制限する。	第4条 次の各号の競技会場においては、的数を制限する。
(1) 駒沢第1球技場 <u>21</u> 的	(1) 駒沢第1球技場 <u>27</u> 的
【以下略】	【中略】 (4) <u>夢の島公園アーチェリー場 70脚</u> 【中略】
	附 則
	<u>1 この規程は、2022年1月5日から施行する。</u>

2021年12月28日

東京都アーチェリー協会
理事長 松村 晃志様

関東学生アーチェリー連盟
連盟委員長 神谷 貴浩

2022年度男女リーグ戦におけるイアンセオ使用のサポート依頼について

平素は関東学生アーチェリー連盟の活動に多大なご協力を賜り、深謝申し上げます。

当連盟では現在に至るまで看的用紙のみで点数記録を行ってまいりましたが、集計作業等の大会運営をより円滑に行うため、イアンセオの導入を決定致しました。

この度、イアンセオの本格的な導入にあたり、当連盟は2022年4月16日から5月8日にかけて開催する2022年度男女リーグ戦で、イアンセオ運営経験の向上を行う予定です。

しかし、我々関東学連の役員はイアンセオの機材面・運営経験に乏しく、我々のみで独立して機材整備・記録作業を行うことは困難であると考えております。

つきましては、リーグ戦におけるイアンセオの使用に関して貴協会のご協力をお願いし、たくご連絡差し上げた次第でございます。ご多忙の中お手数おかけし恐縮ではございますが、何卒ご検討の程お願いいたします。

日程 : 2022年4月16日(土)、17日(日)

4月23日(土)、24日(日)

5月7日(土)、8日(日)

場所 : 夢の島総合公園 アーチェリー場

依頼事項 : 当連盟のイアンセオ使用における機材貸し出し・オペレーター派遣

以上